



三重県議会議員

こうすけ

しもの幸助県政レポート

2023 新年号 VOL.36



発行：三重県議会議員 しもの幸助事務所

新年おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が県内初の発生事例から3年が経ちましたが、長期にわたり感染拡大防止にご尽力されている医療従事者をはじめ、関係者すべての皆さまに心から感謝申し上げます。引き続き、医療対策と経済対策の両輪を、県として効果的に事業展開できるよう県議会等で取り組んでまいります。

おかげさまで、「しもの幸助県政レポート」は県議会議員3期12年にわたり、今回36号の発行となりました。これからも三重県の防災減災対策、人口減少対策や道路・河川等の工事状況など主要課題を身近に感じて頂けるよう取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

下野幸助

全国旅行支援 2023年版(1月予定)

おいでよ!みえ旅キャンペーン

■割引内容/旅行代金を一律20%OFF (上限:1人1泊あたり上限:交通付き 5,000円、宿泊・日帰り3,000円) ■地域クーポン/平日2,000円分 休日1,000円分を付与

三重県議会議員 しもの幸助

2022年県政5大ニュース

1 三重県議会6月定例会議 一般質問登壇(6月10日)

県議会6月定例会議にて次の4項目について県知事、執行部当局に質問しました。

- (1) 県の人口減少対策について
- (2) 県の地籍調査について
- (3) 県内卸売市場の支援と今後の展開について
- (4) 県立学校のトイレの洋式化及びバリアフリー化対策としての多機能トイレの整備等の計画的な推進について



4 令和3年度決算総括質疑に登壇(10月31日)

令和3年度決算認定議案について、次の5項目の質疑を行いました。なお、本決算は11月21日に認定されました(県政レポート裏面ご参照)

- (1) 新型コロナ対応と今後の対応について
- (2) 人口減少対策について
- (3) 里親制度、アドボケイトの支援強化について
県内では保護者による適切な養育が受けられない子どもが約500人存在します。これまで以上に里親制度の普及啓発や自分から声を上げられない子どもの意見を聴き、代弁する支援者「子どもアドボケイト」の取組などの重要性が高まっています。
- (4) 三重県スポーツの競技力向上について
令和3年度は残念ながらコロナの影響で、三重とこわか国体が中止となったが多くのアスリートや指導者が三重県で活躍、定住している。引き続き、競技力向上対策に取り組んでスポーツ強化とともに、人口増加にもつなげてほしいと思います。
- (5) 小中学校に配置されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの拡充について



2 みえ高校生県議会に登壇(8月22日)

三重県議会では、広聴広報活動の一環として、高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、「みえ高校生県議会」を隔年で開催しています。防災県土整備企業常任委員長として、暁高校、紀南高校から防災対策に関する質問をいただき答弁しました。



3 防災県土整備企業常任委員会 県外調査にて埼玉県・宮城県を視察(8月23日~25日)

埼玉県の危機管理防災センター(2011年3月開設)を視察しました。建物は震度7の揺れを震度4程度に低減する免震構造、災害対策本部室には52インチ24画面(箇所)の大型モニターが設置(写真)されていました。その他、備蓄倉庫などを視察しました。三重県においては今後想定される大震災や豪雨など防災対策として危機管理センター設置に向けた調査検討をしています。宮城県気仙沼市では東日本大震災伝承館、女川町議会等を訪問し、震災からの復興、今後の防災対策等について調査しました。



5 第22回都道府県議会議員研究交流大会に出席(11月10日)

デジタル技術の活用や地方創生の推進、子ども子育て支援等について研修(議員派遣)しました。多くの地方で20代の若者の人口流出が多く、昔であれば大学などで都市部へ一旦転出しても、地元へ戻る傾向がありました。昨今は戻ることなくそのまま都市部で就職する傾向が顕著に出ていると説明がありました。特に女性は三重県も含めその傾向が強く、地方の人口減少に大きく関与しています。三重県では合計特殊出生率が目標(県民調査による理想)1.8に対して1.4台が続いており、令和に入り毎年15,000人規模で人口減少しています。2022年現在の県民人口は174万人(ピーク2007年187万人)ですが人生100年時代、100年後を見据えた取組(若者雇用対策、子ども子育て支援、特に20代女性への支援)を着実に実行して行かなければならないと考えています。



皆さんは、このまま人口減少が進んだら100年後の三重県はどうなると考えますか?

三重県の人口ピークは2007年の187万人でした。今後の人口減少対策が、三重県にとって最大の課題と言っても過言ではありません。今後も引き続き、暮らしやすい三重県を目指して人口減少対策に取り組んでいきます。

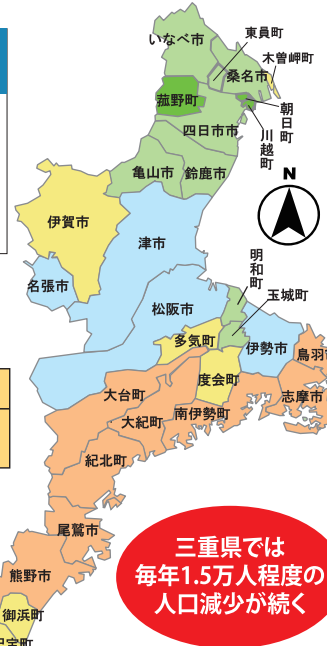
■人口減少によって生じる主な課題

1. 少子高齢化の進展/高齢化率は30%以上へ
2. 生産年齢人口の減少による
 - ①国内需要の減少
 - ②経済規模の縮小
 - ③労働力不足
3. 投資先として日本の魅力低下、国際競争力の低下
4. 医療・介護費の増大など社会保障制度の給付と負担のバランスの崩壊、財政の危機
5. 基礎的自治体の担い手の減少など様々な社会的・経済的な課題が深刻化することになります。

人口増減率(29市町) 2007年と2022年

0%超	3
0~▲5%以下	8
▲5~▲10%	4
▲11~▲20%	6
▲20%超	8

三重県 人口 174.2万人 面積 5774.4km² (2022年10月現在)



三重県では毎年1.5万人程度の人口減少が続く

■三重県29市町別人口データ

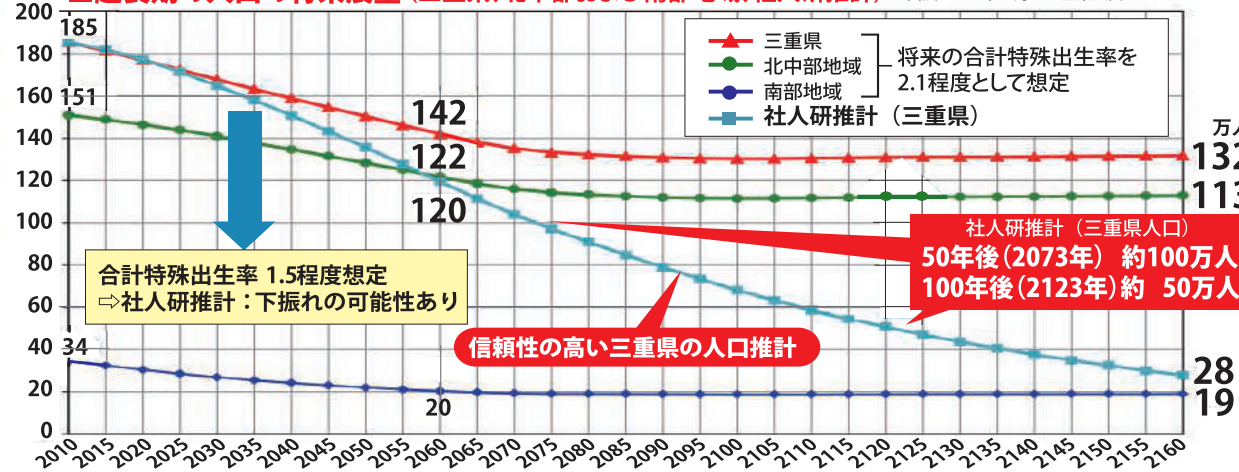
29市町 人口増減率(色分)	総人口(人)		15年比較 (左記増減)		高齢化率(%)		面積 (km ²)
	2007年10月	2022年10月	2007年10月	2021年10月	2007年10月	2021年10月	
津市	288,878	271,096	-17,782	-6.2%	23.7	29.7	711.19
四日市市	306,282	303,821	-2,461	-0.8%	19.3	26.0	206.52
伊勢市	133,640	120,359	-13,281	-9.9%	24.0	32.3	208.35
松阪市	169,515	156,324	-13,191	-7.8%	22.8	30.3	623.58
桑名市	140,554	136,819	-3,735	-2.7%	19.2	27.1	136.68
鈴鹿市	196,966	193,087	-3,879	-2.0%	17.0	24.9	194.46
名張市	81,227	75,031	-6,196	-7.6%	20.0	33.2	129.77
尾鷲市	21,316	15,429	-5,887	-27.6%	32.9	44.4	192.71
亀山市	50,153	49,710	-443	-0.9%	21.8	25.9	191.04
鳥羽市	22,278	16,788	-5,490	-24.6%	28.4	40.1	107.34
熊野市	20,525	15,289	-5,236	-25.5%	35.1	45.1	373.35
いなべ市	46,625	44,424	-2,201	-4.7%	21.6	27.7	219.83
志摩市	56,841	43,933	-12,908	-22.7%	30.4	41.6	178.95
伊賀市	99,805	86,213	-13,592	-13.6%	26.2	33.1	558.23
木曾岬町	6,848	5,847	-1,001	-14.6%	19.8	33.9	15.74
東員町	25,803	25,759	-44	-0.2%	18.0	31.7	22.68
菟野町	39,576	40,269	693	1.8%	21.7	26.4	107.01
朝日町	8,347	11,149	2,802	33.6%	19.4	18.8	5.99
川越町	13,245	15,441	2,196	16.6%	17.9	18.8	8.73
多気町	15,659	13,665	-1,994	-12.7%	27.1	34.6	103.06
明和町	22,876	22,281	-595	-2.6%	23.5	31.7	41.04
大台町	10,853	8,265	-2,588	-23.8%	33.6	43.5	362.86
玉城町	15,084	14,861	-223	-1.5%	22.3	28.9	40.91
度会町	8,934	7,628	-1,306	-14.6%	25.8	36.9	134.98
大紀町	10,382	7,332	-3,050	-29.4%	37.4	51.0	233.32
南伊勢町	15,926	10,228	-5,698	-35.8%	41.1	53.9	241.89
紀北町	19,131	13,795	-5,336	-27.9%	35.9	46.6	256.54
御浜町	9,693	7,837	-1,856	-19.1%	32.9	41.5	88.13
紀宝町	12,345	10,023	-2,322	-18.8%	27.3	38.0	79.62
三重県計	1,869,307	1,742,703	-126,604	-6.8%	22.5	29.8	5774.49

※人口は、三重県戦略企画部統計課「三重県の人口(市町別推計人口)」による。高齢化率は総人口に占める65歳以上の人口

■三重県年間人口減少数(直近3年実績)について

人口減少要因	2019年 確定値	2020年 確定値	2021年 確定値	直近3年間 人口減少数 (3年合計)
①自然減少 (出生数-死亡数:万人)	▲9,121人 (1.2-2.1)	▲9,575人 (1.1-2.1)	▲10,659人 (1.1-2.2)	▲29,355人
②社会減少 (転入数-転出数:万人)	▲6,251人 (2.5-3.1)	▲4,311人 (2.5-2.9)	▲3,480人 (2.5-2.8)	▲14,042人
三重県 年間人口減少数 (①自然減少+②社会減少)	▲15,372人	▲13,886人	▲14,139人	▲43,397人
三重県 合計特殊出生率	1.47	1.42	1.43	1.44

■超長期の人口の将来展望(三重県、北中部および南部地域、社人研推計) 出展:2015年10月 三重県人口ビジョン



※社人研:国立社会保障・人口問題研究所

令和4年度
《事業予算》

鈴鹿市内の主な幹線道路・河川等工事進捗状況について



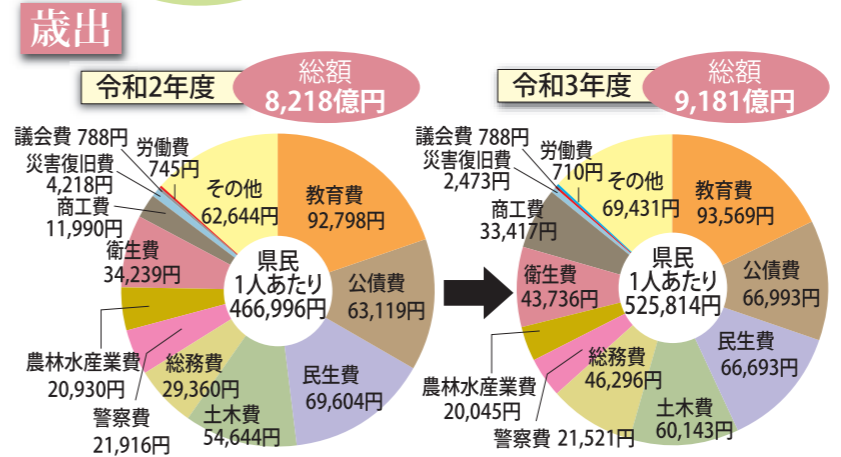
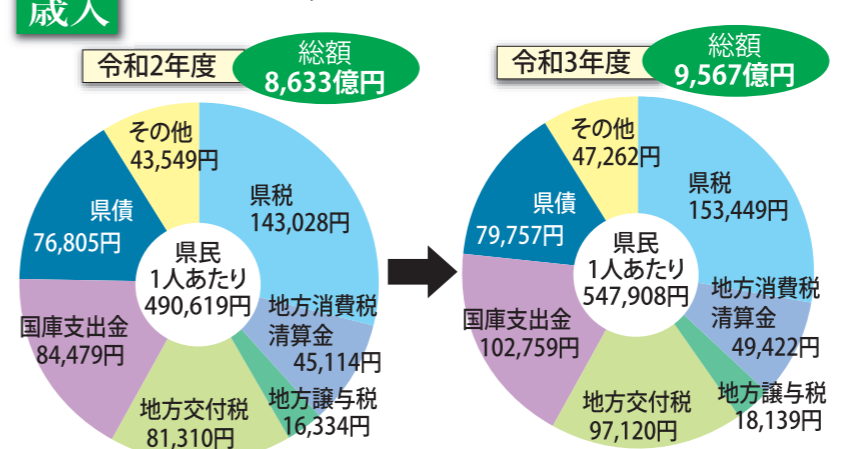
路線名	事業箇所	事業延長 (km)	令和4年度事業費 (千円)	事業費(国土強靱化分) (千円)	令和4年12月初旬時点での進捗状況
1 中勢バイパス4工区	〈北玉垣町～野町〉	2.8	3,867,000	250,000	現在、道路改良工、北玉垣高架橋床版工等を実施中 令和5年度 開通予定
2 鈴鹿四日市道路	〈四日市市采女町～稲生町〉	7.5	500,000		現在、調査設計を実施中
3 23号電線共同溝	〈白子地区〉	5.2	91,000	122,000	現在、調査設計、支障物移設、本体工事を実施中
4 国道306号川崎庄内バイパス	〈亀山市川崎町～鈴鹿市東庄内町〉	2.2	92,663		鈴鹿亀山道路の事業化に伴い、設計を修正予定
5 神戸長沢線(II期)	〈伊船町～長澤町〉	1.4	95,015	25,200	フラワーロード交差点から鈴鹿ICにおいて、用地買収および物件補償を実施中
6 鈴鹿環状線 礪山バイパス(II期)	〈徳田町～五祝町〉	1.7	404,498	318,772	道路工を実施中 令和7年度 開通予定
7 鈴鹿環状線 国府バイパス	〈平野町～国府町〉	2.0	84,000	102,715	道路盛土工事、用地補償を実施中
8 国道306号鈴鹿亀山道路	〈鈴鹿市野辺町～亀山市辺法寺町〉	10.5	52,500		調査設計を実施中
9 神戸長沢線(定五郎橋)	〈弓削町〉	0.1	61,650		道路工を実施中
10 四日市鈴鹿環状線	〈神戸地区〉	0.2	163,667		踏切道拡幅工を実施中
11 野町国府線	〈三日市～道伯町〉	0.9	315,000		道路工事、用地補償を実施中
12 国道306号	〈東庄内町～伊船町〉	1.2	102,900		現在、歩道工を実施中
13 稲生山線	〈白子町～野村町〉	0.3	3,082		あんしん路肩工を実施中
14 市道 汲川原橋徳田線(1期)	〈庄野羽山3丁目～平野町〉	0.9	32,000		信号機設置工事など 令和4年 11月26日開通
15 市道 汲川原橋徳田線(II期)	〈平野町～国府町〉	1.3	176,000		用地買収、街路事業継続中

河川・海岸名	事業箇所	令和4年度事業費 (千円)	事業費(国土強靱化分)	令和4年12月初旬時点での進捗状況
16 一級河川鈴鹿川	河川流域(直轄管理区間)	609,000		樹木伐採、護岸補修等(維持修繕)
17 一級河川鈴鹿川	河川流域(直轄管理区間)	544,300		河道掘削、護岸工 等(改修)
18 一級河川芥川	加佐登町～庄野町	51,960	66,274	現在、橋梁改築の設計を実施中、堤防工を実施中
19 二級河川堀切川	白子1丁目ほか	74,205	63,000	堤防工事実施中
20 二級河川中ノ川	徳田町		75,500	堤防強化工事実施中
21 千代崎海岸	南若松	73,200	52,000	離岸堤工事実施中。消波ブロック製作中。
22 南若松地区海岸	南若松	106,200	104,300	離岸堤工事実施中。消波ブロック製作中。
23 金沢雨水幹線	飯野寺家町ほか	157,030		下水道(雨水)施設整備

1～5 16 17 国管理 4～13 18～22 県管理(国道3桁道路は県管理) 14 15 23 市管理

三重県令和2年度及び令和3年度 一般会計(県民1人あたり)決算内容の推移

(令和4年11月21日 令和3年度 決算認定議案可決)



【令和2年度決算認定/R3.6.1現在 1,759,711人】 【令和3年度決算認定/R4.6.1現在 推計 1,746,107人】
(注)歳入・歳出の金額は四捨五入のため合計とは合わない場合があります。

みえ 三重県民のみなさま限定 省エネ家電 購入応援キャンペーン

令和5年2月28日(火)まで実施中!

県では、エネルギー価格高騰の影響による家庭のエネルギー費用負担の軽減や温室効果ガスの削減を図るため、「みえ省エネ家電購入応援キャンペーン」を実施しています。この機会に省エネ家電を購入してみたいはかがでしょうか。



■キャンペーンの内容

●実施期間中、対象店舗において対象製品を合計5万円(税抜き)以上購入した県民の方に対して、購入金額に応じたキャッシュレスポイント等を交付します。
※申請はお一人様1回限り

■実施期間

●購入期間/令和5年2月28日(火)まで
●ポイント等交付申請受付期間 令和5年3月7日(火)まで
※予算上限に達し次第、予定より早期に終了する場合があります。

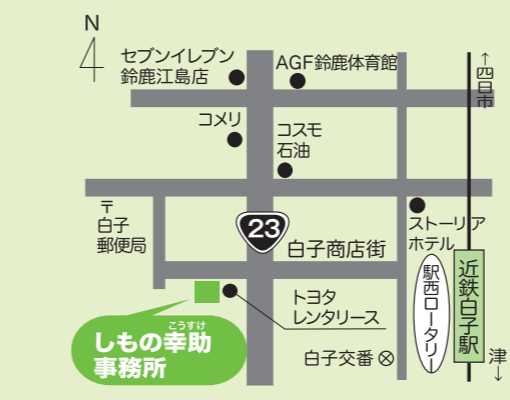
■問い合わせ

「みえ省エネ家電購入応援キャンペーン」
お客様専用コールセンター
050-3508-3477
(受付時間:10時～18時)

■ホームページ
<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0012300261.htm>

三重県議会議員 新政みえ所属 しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722



現在の主な役職

- 防災県土整備企業常任委員会 委員長
- 三重県議会スポーツ振興議員連盟 副会長
- 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟 副会長
- 三重県議会日越友好議員連盟 副会長
- 三重県トライアスロン協会 顧問
- 鈴鹿市水泳協会 会長

しもの幸助公式ホームページ

<http://www.k-shimono.com>
最新の活動状況がご覧いただけます
皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。

■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール (46歳)

1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在46歳(妻、長男、長女 4人家族)
1989年3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
1992年3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
1997年3月 国立鈴鹿工業高等学校電気工学科 卒業
1999年3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
1999年4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
2001年10月 内閣官房職員
2008年3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了
2008年3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
2011年4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)初当選
2015年4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)2期目当選
2019年4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)3期目当選
2019年6月 四日市港管理組合議会 議長
2022年5月 防災県土整備企業常任委員会 委員長(現職)



2011年4月初当選から12年目を迎えました